

平成17年11月11日

土木学会鋼構造委員会 小委員会活動報告

小委員会名 (分科会名)	土木鋼構造物の設計法に関する調査小委員会	委員長 (分科会長)	清宮 理	連絡幹事	野澤伸一郎
活動予定期間	平成17年4月 ～ 平成20年3月 (3年間)				
活動の目的	<p>土木分野では、鋼橋以外の鋼構造物も多く、これらに対する調査・研究・検討も今後必要となる。対象となる施設としては、港湾・空港構造物、地下空間構造物、河川構造物、基礎構造物、鉄道施設、道路施設、防災施設、通信施設、エネルギー施設などをあげることができる。</p> <p>本小委員会では、対象をこれらの中から適宜選択する予定であるが、土木関連鋼構造物の現状と動向を調査し、整理を行う。また、取り上げる各鋼構造物の構造設計法に着目して、施設ごとの比較と共通項の抽出を行うことにより、性能設計を念頭に置いた標準的な設計法の試案作成を目指す。</p>				
これまでの活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・公募により参加委員を募集、小委員長以下20名が参加 ・第1回委員会 平成17年5月25日 <ul style="list-style-type: none"> ・対象とする土木関連構造物、調査・整理の方法の議論 ・今後の活動方針と活動成果の確認 ・DR. JEAN-PAUL LEBET (EPFL- ICOM)の講演「スイスにおける合成橋梁とユーロコード4 (Composite bridges and Eurocode 4 in Switzerland)」 ・第2回委員会 平成17年8月18日 <ul style="list-style-type: none"> ・依田教授の講演及び国土交通省「土木・建築にかかる設計の基本」等の資料に基づき、最近の設計法動向の説明及び情報交換。 ・対象分野の整理及び対象分野調査のWGの構成を議論、対象分野ごとに4WGを組織 WG1: 海洋・港湾・空港構造物分野、WG2: 鉄道施設構造物分野、WG3: 道路施設構造物分野、WG4: エネルギー施設、送電・通信施設、電力土木分野 ・話題提供: 早稲田大学 依田教授「鋼構造物の設計法の動向」について ・話題提供: JFE技研 鈴木委員「パイプライン(ガス導管)分野の設計の動向」について 				
今後の活動計画と目標とする成果	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回委員会を平成17年12月19日に開催し、以下を予定している。 <ul style="list-style-type: none"> ・4WGから対象分野ごとに最近の設計法動向の情報提供 ・各分野の最近の設計法動向に基づく調査・整理の方法の議論 ・話題提供: 港湾空港技術研究所 横田委員「港湾構造物の設計法の動向」について ・今後、年4回程度の小委員会開催を予定 ・小委員会活動の具体的な成果は、研究報告書を作成するとともに、シンポジウムを開催して普及に努める予定 				
その他					

